



信州の環境と知に根ざしたESDコンソーシアムの形成

信州ESD通信

No. **38**

2021.2.22

信州ESD
コンソーシアム
事務局

目次：信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会／信州高大生応援フェス

2月6日 信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会が開催されました

<午前の部10:00～12:40>

宮崎会長より挨拶、コロナ下ですがオンラインで遠路の交流もできるようになりました、リラックスして発表交流をしましょう、手始めに手指の運動をしてみましょう、と実演し参加者を和ませました。以下順次発表の概要です。



●**山ノ内町立西小学校2年生18名** ひつじの「ゆきといっしょに」をテーマに児童全員で活動しました。夜にケモノが来ていることに驚いたり、こどもが欲しいので種付けなど全員で考え活動した様子を元気に発表しました。

●**山ノ内町立東小学校4年生20名** ビデオで故郷学習をテーマに、コカリナを練習して全校に発表、志賀の新聞をつくり広報など、町のすばらしさを知りできることを考えアートにしました。これからもふるさと学習に取り組んでいきます、と宣言しました。



●**飯田市立上村小学校3名** ビデオで地域の自然体験と霜月祭りについて発表。ジオパーク・エコパークの豊かな自然を知る見学やガイドから学習し、中央構造線や下栗地区での芋ほりなど地域での生活も体験、できることを考えごみ拾いや挨拶などをおこないました。歴史学習で、霜月まつりは新しく生まれ変わりを願う祭りで、愛知県にもあることなど学び、祭りの面(おもて)づくり、舞の練習、笛も体験しました。



●**飯田市和田小学校5年生6名** 少人数ですがお茶と米づくりの取り組みをビデオで発表しました。5月に茶つみ、袋詰めして販売、楽しくできました。田植えから稲刈り、脱穀、たくさん採れ、収穫祭して食べました。販売したお金はSDGsのための寄付を考えています。

●**宮崎県綾町立綾中学校1,2年生8名** MOVE～綾中からつなぐ持続可能な世界へ～をテーマに、1年は豊かな自然を知るで、自然と生活がつながっていることを学び、2年は人と町への探求で、宮崎の海岸と大学視察し、綾の課題と対策を考え、3年は自分への探求、ふるさとへの貢献を考え、私のSDGs宣言をし実践しました。委員会活動ではSDGsの新聞づくり、給食調査、ペットやレンズケース、ハガキを回収しました。



●**岐阜県高山市立庄川中学校1,2年生22名** 「庄川を守っていく郷土教育」をテーマに、1年でバイクモ、2年うちわ作り、伝統の獅子舞などの学習し、一斉清掃などできることからSDGs、ESDを考え直しています。作文で入賞し地域の発展にもつながると知り他のユネスコスクールの活動も参考にしたい、と。



<講評>



○**池端弘久(北陸ESDコンソーシアム、金沢市)** 東小のアート製作などの表現活動、上村小のウェブづくりなどはすばらしい、和田小は小規模校の良さが生きていた、綾中はデータにもとづく活動で、庄川中は足元をしっかりと学んでの活動でした。今後とも各校の実践が生きることを願っています。

○**阿部治(立教大学ESD研究所長)** 皆さんのユネスコスクールは地域の自然と人、人と人をつなぐ活動で、持続可能な地域づくりにつながっていて、それはさらに世界やSDGsにもつながっています、ESDは真の「地域創生力」なのです、と。



●**山ノ内町立南小学校6年生12名** 町の魅力は1野猿公苑、2リンゴ、3温泉で、挨拶運動や海を守るためプラごみが多い川を清掃し、修学旅行でも海岸でゴミ拾いなどグリーン作戦をしました。6年中心で南小五輪を開催して楽しみな

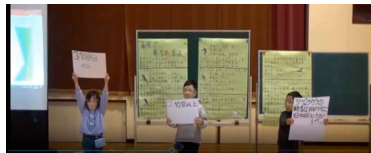
からSDGsを進めています。静岡との交流学习や役場との意見交換、ポイ捨て禁止も進めています。



●**高山村立高山小学校5年生4名** 扇状地では大変な米づくりに挑戦、田植え、稲刈りもし、地元と交流しました。コロナでわくわく村ができないので学級ごとに校内でキッズわくわく村を計画し実施しました。

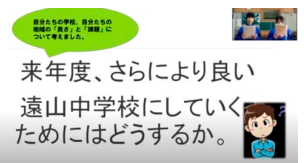


●**群馬県みなかみ町立新治小学校5年生5名** エコパーク赤谷の森学習でイヌワシもいる!と自然を知りたくなった、自然は暮らしにも大切、共生社会であり皆で守り活かし、ひろめるため各自で課題研究をし、竹細工を体験、活動が新聞にも紹介され、豊かな自然を誇りに思う学習で、地域の良さをこれからも発信したいです。



●**群馬県みなかみ町立藤原小学校2年生** 愛鳥校なので鳥を調べビデオで発表しました。イヌワシ、キビタキ、ホオジロ、キジバトなど、鳴き声や食べ物などのクイズも作り実演、観察は大変でしたがたくさん知れて良かったです、と。

●**飯田市遠山中学校2年生4名** 主に生徒会活動を報告しまし。名物の遠山レンジャーが登場、ゴミ拾いや地域フォーラムを実施し、地域、学校を良くするためにを考え、1新しい、2世界につながる、3自然を守る、ために各委員会地域や行政と交流し、学級討論会などを楽しんでおこなう、持続可能な遠山郷をつくりまします、と宣言しました。



●**山ノ内町立山ノ内中学校1年生10名** 地域の魅力を探る活動で、ロマン美術館と温泉に入るサル野猿公苑、道の駅の食堂は地元食材使用です、千歳桜や世界平和観音、佐野遺跡(縄文時代)、民話も豊富で、調べたことをたくさん紹介してくれました。

<講評>



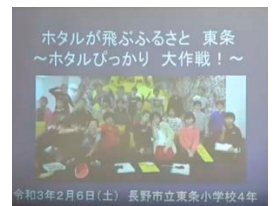
○**市瀬智則(宮城教育大学)** 南小は海を考えていますね、高山小はわくわく村の地域活動がすばらしい、新治小は自然のつながりを学習していた、藤原小は鳥学習から地域に広げてみると良いですね、遠山中の生徒会活動は地域に広がりがあります、山中のスノーモンキはなんで有名になったのかな、課題解決の提案にも取り組んでほしい、と。

○**中澤静男(奈良教育大学)** それぞれ地域の魅力発見から課題解決の提案につながるでしょう、身の回りを改めて気づくことが大事、今後とも楽しくESD活動をしてください。



<午後の部 13:50~16:00>

●**長野市立東条小学校4年生** ビデオで「ホタル飛ぶふるさと、ピッカリ大作戦」を、ホタル観察会を地域の人とおこない、川調査、川清掃、飼育、校内に水路づくりしてザリガニ退治などしてホタルを守り、地域にも紹介しています。



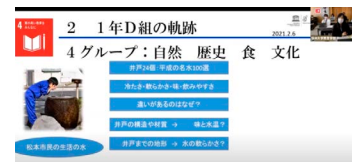
●**いづな学園グリーンヒルズ小学校** ビデオで「リンゴ園プロジェクト」、8本のリンゴを育てる過程を1年から全員で発表してくれました。コロナで交流ができなくて残念でしたが、地域の支援でリンゴは完売でき、水害の長沼へ募金しました。人の気持ちのわかる人になりたいとの感想に感心しました。

●**長野市立信里小学校4年生8名** ビデオでトンボ学習の紹介。ため池のシナイモツゴや貴重なトンボもいます、ヤゴを教室で飼育しトンボが羽化したときは感激しました、トンボの種類や生活の学習成果を発表し、これからもこの自然を守りたいと宣言しました。

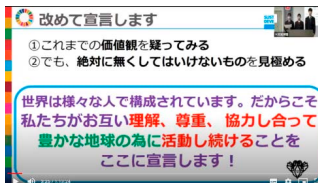


●**茅野市立永明小学校3年生** ビデオで地元の山をもっと活用したいと考え「永明寺山プロジェクト」をつくり、つえを置くことにして頑張っていました。山登りで実際に丈夫さを確かめ、次にはベンチを作りたいと考えています。

●**信州大学教育学部附属松本中学校1年生** ビデオで「松本PR」をテーマに、自然、歴史、食、文化の4グループの取組を紹介。井戸が名水100選に、謙信と松本城、開智学校、縄手通りをインタビュー、パンとスイカが名物、てまりと祭り、などをそれぞれ調べて、松本の未来を考えました。



課題に向けてチャレンジを全員で宣言してくれました。



●**文化学園長野中学・高等学校10名** 中学生はジェンダーレス制服のために色のピンクを中心に調べて発表、改めて多様性の尊重が大事とわかった。生徒会執行部は、みんなのSDGs宣言、地球はゴミだらけなのでエコバッグを、それもエコではないので新聞紙エコバッグ作りに、でもまだまだ課題が、なぜなぜとさらに考えていきたい。高校生徒会は、「ボランティアって」をテーマに、ヘッドネーションなどで相手の気持ちを感じて、誰かのためにの活動をしました。文化祭をオンラインでやってみて、予想のつかない未来のためにを宣言しました。

●ユネスコスクール卒業生



○**佐藤友音(高崎経済大学)** ユネスコスクールの高校のESD交流でインドネシアに、ESD/SDGsなどに目覚めて、地元の活性化につながる地域政策の学習できる大学に進学し学んでいます。

○**芋川史貴(長野大学)・小林憂生斗(長野県立大学)** 中高で生徒会活動して、清掃+えびもり+フェアトレード活動などして、駅前カフェで中野をときめきの町にしたいと。

大学でも、大学祭委員や学外9時間ゴミ拾いなどでの活動し、自宅でも薪ストーブなどエコな暮らしをするようになりました。皆さんへ、わくわく楽しく、どんどんやろう、感謝も忘れずにね、との先輩からの提案でした。



●**信州環境カレッジ** 講師派遣などで支援する学校講座の実施状況を紹介し、ぜひホームページからご利用ください、と。

●**中部地方ESD支援** ESD行事やSDGsWSシートの開発を提供している、また今年はエコツアーツールの開発もおこない提供を予定している、と。

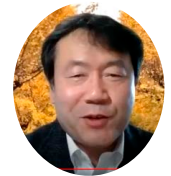
<講評>

○**安田昌則(大牟田市教育委員会)** いずれも良い点は、1地域の宝物を発見する力、2体と心を使って行動する力、3発信し、後輩にも伝える力をもっていることです、と。



○**今井和愛(北陸ESDコンソーシアム、石川県)** いずれも1自分ごとにしている、2身近なことを、3問いにしているなど、課題を広げ発信していく力を感しました。

○**及川幸彦(東京大学教育学研究科)** 小では「創る」として、ホテルやヤゴなどの環境を造ることで学習が深まってきている、体験することで課題解決につながり、自然と地域のつながりを知ることで新たなつながりができてくる。中高では、探求がどれほど深まっているか、発信して終わりではなく、常識を疑うなど問題提起すればより発展する、ユネスコスクールはESDを学び続ける仕組みでもある、と。



* Zoomでの意見や感想は後ほど集約して各発表校に送られました。

2月7日 信州高大生応援フェス/ユースリーチが開催されました

「長野を少しずつもっと良くする」を合言葉に、長野に住む高校生や大学生が学校の枠を超えて、まちの課題を学生自らが発見し、アクションプランを作成、それを実践していきます。その成果発表会が長野県NPOセンター主催であり、以下の発表とそれへの評価とコメントがありました。

●**ACT Goods bank** リサイクルを学生に呼びかけています。 ●**DressUP** 長沼の桜を震災の東北に&街角ピアノを長野に置きたい。 ●**Gomitomo** ゴミ拾いは愛だ! をかけ行動から社会を変える! ●**身近な危険、水害** 長野の経験から学び備える必要を。 ●**ShainPro** 通信制高校生のネットワークを呼び掛けている。 ●**飢餓ゼロの世界を作る** 日本の食品ロスをなくすキャンペーンを小中学生にしたい。 ●**川中島でフードライブ** 地元にはなかったので始めた、継続したい。 ●**気候危機アクション** 服(全エネルギーの10%)のリメイクでCO₂を減らしたい!

など、多くの高大生が身近な課題から解決法を考え、実際に取り組んでいます、新しい時代の幕開けを感じます。



信州ESD通信

No.38 2021.2.22

発行：信州ESDコンソーシアム事務局 編集：渡辺隆一
〒380-8544 長野市西長野6 信州大学教育学部
事務局：清水・高橋 TEL026-238-4034 kyoeshd@shinshu-u.ac.jp